

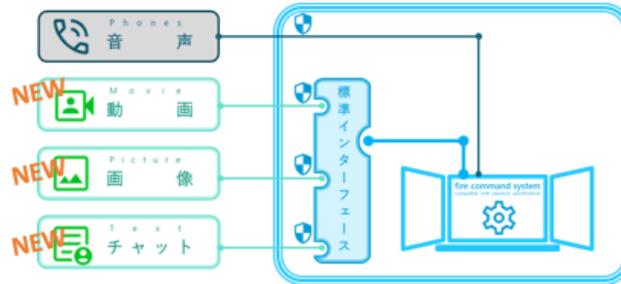
# 消防指令システムの高度化により 音声以外の119番通報の受理が 可能になる

事業者：総務省消防庁

(1) 1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策  
人命・財産の被害を防止するための対策

(2) 交通ネットワーク・ライブラインを維持し、  
国民経済・生活を支えるための対策

## 1 音声以外の119番通報が受理可能になる



## 2 データ連携が容易に



2 予防保全型インフラメンテナンス  
への転換に向けた老朽化対策

## 対策名：42 消防指令システムの高度化等に係る対策

主たる施策グループ：2-1) 自衛隊、警察、消防、海保等の被災等による救助・救急活動等の絶対的不足



## 事業名：消防指令システムの高度化

- ポイント**
- 各消防本部が独自で導入している消防指令システムを改修
  - 音声以外の119番通報を受理できるようになるとともに、消防本部間のデータ連携がスムーズとなり、事案対処能力が向上

### 地域の概要・課題

大規模災害に備え、情報収集能力の向上や情報共有体制の強化が必要となりますが、その要である消防指令システムは各消防本部が独自で導入しており、その仕様も異なります。

119番通報は未だ音声通話が主流であること、また、消防本部が被災した場合、被災本部が所持している、応援部隊の活動方針等の決定に資する重要情報の共有ができないなどの課題が存在しています。

### 事業の概要

各消防本部が独自で導入している119番を受け付けてから、必要部隊を出動させる機能を持つ消防指令システムについて、①画像や動画などのデータ通信による119番通報を受け付けることを可能とする、②データ連携等を可能とするためのデータ要件の統一、の2点を実施します。

### 見込まれる効果

画像や動画などのデータ通信を利用した通報を標準化することで通報時に得られる情報が現在よりも多くなり情報収集能力が向上します。そのため、人命救助等に必要な装備を現在よりもさらに適切に選択して現場に向かえるなど事案対処能力が向上します。また、標準データ要件を備えることで、広域災害等において他本部との車両の位置情報等についてデータ連携を可能とすることで、情報共有体制が強化され、効果的な消防・救急・救助に繋がります。



(1) 3 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進  
デジタル強靱化に関する施策の

(2) 伝達の高高度化  
災害関連情報の予測、収集・集積・